

## 集会アピール(案)

2011年3月11日に起きた原発史上最悪の「東京電力福島第一原発事故」から2年半が経過しましたが、事故はいまだに収束の見通しも立たず、今も広大な海・空・大地を大量の放射能で汚染し続けています。また、貯蔵タンクからの放射能汚染水漏れが明らかになりました。汚染水は間違いなく海洋へ流出しており、安倍首相の言う「コントロール」されている状況にはありません。

北海道電力は、7月8日、泊原発1～3号機の「再稼働」に向けた安全審査を原子力規制委員会に提出しました。その内容は、①3号機の審査を優先する、②最大津波の想定を「海拔7.3m」に引き下げる、③敷地内や周辺海域などに「活断層はない」などとなっています。

規制委の審査では、早々に1、2号機の過酷事故対策で3号機の解析結果を流用していることが明らかになり、規制委員長からは「替え玉受験」と非難されました。また、北電は、設計上の想定地震動550ガルや奥尻島を襲った1993年の南西沖地震を想定した最大津波について、「新規制基準に対応しており、変更の必要はない」としました。こうした想定の高さに、「3.11前と変わらない」と厳しく批判されています。このように「再稼働」ありきの杜撰な申請は断じて許されるものではありません。

福島原発事故は、私たちに、あらためて「核と人類は共存できない」ことを認識させ、これからの社会のあり方や自らの生き方を問いただしています。

私たちの命と暮らしを守るため、子どもたちの未来のために、今こそ、脱原発を実現し自然エネルギー中心の社会をつくり上げていきましょう。

泊原発の再稼働を止めましょう！

伊方原発・大飯原発などすべての原発の再稼働を止めましょう！

そして、すべての原発をなくしましょう！さようなら原発！

2013年10月5日

STOP泊原発の再稼働！さようなら原発北海道集会inいわない